

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 高砂鐵工株式会社
 コード番号 5458 URL <http://www.takasago-t.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 保
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 畑田 正樹
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

TEL 03-5399-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	16,950	—	△57	—	△102	—	△772	—
20年3月期第2四半期	18,892	17.7	726	41.0	654	53.7	333	157.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△25.71	—
20年3月期第2四半期	11.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	25,946	—	3,623	—	13.1	—	113.10	—
20年3月期	27,661	15.7	4,558	15.7	15.7	—	144.56	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 3,398百万円 20年3月期 4,344百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	3.00	3.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△4.1	350	△58.1	150	△76.5	△650	—	△21.63

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	30,080,000株	20年3月期	30,080,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	28,743株	20年3月期	28,083株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	30,051,471株	20年3月期第2四半期	30,053,593株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年7月30日に公表いたしました業績予想(連結・個別)は、第2四半期(連結)累計期間において本資料の実際の業績と差異があります。
- 本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源・エネルギー価格高騰による企業収益の圧迫、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安の世界経済への波及による景気減速の懸念など内外の環境が厳しさを増す中で、先行きの不透明感がますます強まる状況となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループの主要事業である鉄鋼製品事業においては、今期に入っても、前年度上半期半ば以降の厳しいマーケット環境に変化の兆しなく、ニッケル原料価格は低落傾向が続き、販売価格の下落、買い控えの流れは変わらず、逆に、鉄鋼原料やクロム原料は大幅に上昇している中で販売価格への転嫁は遅れ気味で推移いたしました。加えて、前年度増加した割高な在庫が足かせとなり損益は大きく落ち込みました。

また、モーターサイクル関連部品事業においても主力とする米国市場においてサブプライムローン問題による景気の後退、ガソリン高の影響を大きく受け、チェーン、リムともに需要が激減、売上高が低迷し採算が大幅に悪化いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,950百万円（前年同期比10.3%減）、営業損失57百万円（前年同期営業利益726百万円）、経常損失102百万円（前年同期経常利益654百万円）となり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴う期首の簿価切り下げと鉄鋼製品事業の工場再編費用等を特別損失として計上したため、四半期純損失は772百万円（前年同期四半期純利益333百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産総額は25,946百万円となり、前連結会計年度末より1,714百万円減少いたしました。これは主に製品・仕掛品・原材料他のたな卸資産等の流動資産の減少によるものです。

負債総額は22,322百万円となり、前連結会計年度末より780百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金等の流動負債の減少によるものです。

純資産につきましては、3,623百万円となり前連結会計年度末より934百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想数値（通期）の当四半期における修正は、国際金融市場の混乱に端を発して、鉄鋼製品事業・モーターサイクル関連部品事業ともに事業環境の先行きが不透明となり、業績の下振れ懸念があるものの、不確定要素が極めて大きいため、現時点では行ないません。見通しがついた時点で速やかにお知らせいたします。

なお、平成20年10月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成20年7月30日に公表した第2四半期連結累計期間連結業績予想数値及び第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正を行なっておりますのでご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計処理基準等の改正に伴う変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、当第2四半期連結会計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ226百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は、358百万円減少しております。
3. 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる当第2四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

② ①以外の変更

従来、親会社の製品、仕掛品及び原材料の評価基準及び評価方法について半期別総平均法に基づく原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より月次総平均法に基づく原価法に変更いたしました。

この評価方法の変更は、昨年来、主要原材料であるニッケル原料価格が乱高下し、その後も不安定な動きを続けておりますが、この市場価格の変動を売上原価並びにたな卸資産の貸借対照表価額に適切に反映させることで、財政状態及び経営成績をより適正に表示するために、四半期決算制度の導入時期に合わせて行なったものであります。

この変更により、従来と同一の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ133百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,829	1,816
受取手形及び売掛金	7,143	6,684
商品及び製品	3,779	3,831
仕掛品	2,246	3,335
原材料及び貯蔵品	1,525	2,127
その他	831	1,022
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	17,350	18,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,444	2,439
機械装置及び運搬具（純額）	3,783	3,750
その他（純額）	1,165	1,239
有形固定資産合計	7,393	7,429
無形固定資産		
のれん	118	134
その他	328	328
無形固定資産合計	446	463
投資その他の資産		
その他	778	974
貸倒引当金	△22	△19
投資その他の資産合計	756	955
固定資産合計	8,596	8,848
資産合計	25,946	27,661

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,729	11,104
短期借入金	4,932	4,220
未払法人税等	20	41
賞与引当金	221	258
修繕引当金	1	2
その他	1,563	1,797
流動負債合計	16,468	17,425
固定負債		
長期借入金	4,216	4,048
退職給付引当金	1,156	1,146
役員退職慰労引当金	117	113
その他	363	368
固定負債合計	5,854	5,677
負債合計	22,322	23,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	1,883	2,745
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,382	4,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	69
為替換算調整勘定	17	29
評価・換算差額等合計	16	99
少数株主持分	224	214
純資産合計	3,623	4,558
負債純資産合計	25,946	27,661

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

売上高	16,950
売上原価	15,390
売上総利益	1,560
販売費及び一般管理費	1,617
営業損失(△)	△57
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	14
受取技術料	32
その他	46
営業外収益合計	98
営業外費用	
支払利息	101
その他	42
営業外費用合計	144
経常損失(△)	△102
特別利益	
投資有価証券売却益	123
特別利益合計	123
特別損失	
前期損益修正損	30
工場再編費用	83
たな卸資産評価損	584
特別損失合計	698
税金等調整前四半期純損失(△)	△677
法人税、住民税及び事業税	32
法人税等調整額	39
法人税等合計	72
少数株主利益	23
四半期純損失(△)	△772

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表
中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		18,892 100.0
II 売上原価		16,537 87.5
売上総利益		2,354 12.5
III 販売費及び一般管理費		
販売費	1,058	
一般管理費	569	1,628 8.6
営業利益		726 3.8
IV 営業外収益		
受取利息	2	
受取配当金	3	
賃貸料	2	
技術提携料	24	
たな卸資産売却益	15	
その他	16	65 0.3
V 営業外費用		
支払利息	99	
手形売却損	9	
支払手数料	15	
その他	12	137 0.7
経常利益		654 3.5
VI 特別利益		
固定資産売却益	8	
貸倒引当金戻入益	12	20 0.1
VII 特別損失		
固定資産除却損	36	36 0.2
税金等調整前中間純利益		638 3.4
法人税、住民税及び事業税	305	
法人税等調整額	△13	291 1.5
少数株主利益		△13 △0.1
中間純利益		333 1.8

「参考」

四半期個別財務諸表

四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	12,300
売上原価	11,415
売上総利益	884
販売費及び一般管理費	938
営業損失(△)	△53
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	0
その他	24
営業外収益合計	32
営業外費用	
支払利息	54
手形売却損	12
その他	24
営業外費用合計	91
経常損失(△)	△112
特別損失	
工場再編費用	83
たな卸資産評価損	458
特別損失合計	542
税引前四半期純損失(△)	△654
法人税、住民税及び事業税	3
法人税等調整額	△260
法人税等合計	△257
四半期純損失(△)	△396

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。